

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522
制作協力 Lighthouse

©JBA 2022 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。



JBA 会長

こばやしひろのり
小林弘典



新年、明けましておめでとうございます。

新年、明けましておめでとうございます。2022年が皆様にとりましてより良い一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

長きにわたるコロナ禍の厄災を乗り越えて世界が希望に満ちた年となることを願うとき、聴きたくなるクラシック音楽があります。私にとってはヨハネス・ブラームスの交響曲第一番がそれにあたります。ブラームスは20歳の時にロベルト・シューマンに認められ世に出て以来、ベートーベンの後継者として将来を嘱望され、期待の重圧と闘いながら作曲を続けていました。ブラームスがこの交響曲を書き上げたのは1876年・43歳の時です。最初の着想を得た20代のころのスケッチが残っていますので、20年以上も推敲を重ねて書き上げた交響曲です。

第一楽章の冒頭は、唐突なティンパニの連打の上に弦楽器が奏でる半音階の上昇する旋律と、低音楽器の下降する不協和音が重なり、重々しく運命的な何かを感じさせる波が押し寄せます。あたかも長年の苦悩を表現するかのような序奏からスタートいたします。第四楽章も過酷な運命が姿を現すような長い重苦しい序奏が続きます。弦楽器の旋律が上昇し高揚していくと、ティンパニのロールが響き、ホルンが朗々と雄大な旋律を歌います。この場面はあたかも深い霧に覆われた岩山に登り続け意識も遠のくなか、その絶望の雲間からずっと視界が開けて、穏やかな太陽に暖かく照らされているような印象です。その後、終盤になってようやく歓びに満ちた主題が現れます。ベートーベンの交響曲第九番の四楽章『歓喜の歌』を彷彿とさせる豊かな旋律が、クライマックスに向けて上昇していくと、最後は急速にテンポを速め、圧倒的な高揚の中で終曲します。長く深い霧を抜け、歓喜の山の頂についに至るような印象となります。

コロナ禍の厄災の中、ワークスタイルや生活スタイルが変わる一方、港湾・地上輸送の停滞とサプライチェーンの寸断によってビジネスや生活にも我慢の日々が続いています。その中でも変わらず、あるいは改めて有難さを感じておりますのは、公共の福祉と折り合いをつけながら、人に会いたい、自由に往来したいという気持ちだと実感しております。JBAは本年も人と会い、人と繋がり高めあう機会のお役に立ちたいと願っております。本年が皆様にとって歓びに満ちた歓喜の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



在ロサンゼルス日本国総領事

むとう あきら
武藤 顕

昨年も人類と新型コロナウイルス感染症との闘いは続き、多くの方が以前どおりの生活に戻ることができない中であって、様々な創意工夫により、地域社会ははじめそれぞれの持ち場において貢献をされておられる皆様のご多大なご尽力に深い敬意を表します。

日本では、岸田内閣が新たに発足し、新型コロナウイルス感染症対応に留意しながら、「成長と分配の好循環」を実現するため、「新しい資本主義」を始動しました。ポストコロナの未来を切り拓くことで、国民の皆様にご安心と希望をお届けし、世界においては、先進国の中で遜色のない成長をすることで本格的なジャンプスタートを切っていくことを目指しています。

令和3年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開かれた年でした。世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい続けていた最中、日本は、世界に対して約束した大会の開催を実現させるため、感染への恐怖、様々な感染防止対策やそのための制限に苦しみながらもあらゆる努力をしました。そして、皆様にご覧になったとおり、世界中のアスリートに活躍の場を提供し、コロナ禍で苦し

新年明けましておめでとうございます。

む世界中の人々に対して、夢と希望、感動と勇気、そして一体感を与え、改めスポーツの力の素晴らしさを示しました。また、障害のある人もない人も共に生きる共生社会の実現に向け、心のバリアフリーの精神を世界に発信できたと思います。私は、世界中に感動を届けてくれたアスリートの皆さんに心から感謝するとともに、日本がコロナ禍でできる最大限の貢献を世界に対して示せたと胸を張って言えると思います。あの状況の中でのオリンピック・パラリンピックの開催は日本以外にはできなかったとの世界の有識者の指摘に賛同します。

日本は2020年に2050年カーボンニュートラルの実現を宣言し、気候変動対策を成長の機会ととらえる時代へと移行しました。昨年4月には日米首脳会談において日米気候パートナーシップが立ち上がり、9月には日米豪印の枠組みにおいて「日米豪印海運タスクフォース」及び「クリーン水素パートナーシップ」の立ち上げが発表されるなど脱炭素、水素に関する環境も新たな局面となりました。当地においては、ロサンゼルス港での水素バリューチェーン構築の実証が進められ、水素社会実現に向けてランカスター市と浪江町とのスマート姉妹都市のMOUが昨年7月に結ばれるなど日系企業や地方都市レベルで大きな転換期を迎えました。本年は、このような水素社会実現に向けた取り組みを全米、世界へ発信していく飛躍の年とすべく是非当地の皆様と力を合わせ成し遂げたいと考えています。

この先もコロナが完全に払拭されることは困難でしょう。今年も紆余曲折が予想される中においても、コロナの感染をコントロールしながら、経済を再生させることが最大の課題になるものと思います。私は、在ロサンゼルス日本国総領事とし

て、今年には是非、日米間の理解を促進するため、また、両国間の交流と経済関係の一層の発展を推進するため、国境を超える人やモノの行き来が活性化することを願って止みません。そのためには入国規制が撤廃される必要があります。一日も早く交流が正常化されるよう努力していきます。

当地ロサンゼルスにおきましては、日本コミュニティの存在を高めていくために、多様な他のコミュニティとの連携を高めていくことが重要です。昨年は州立ドミンゲス校における企業講座の設置やLAにおけるダイバーシティに係る社会問題に取り組むJapan Job Training ProgramをJBAの皆様とともに始動させることができました。また、昨年コロナ禍へのヘイトクライムの増加を受け、中国系や韓国系との連帯を図るため昨年7月に立ち上がったAsian Business Allianceを通じてアジア系の地域への経済貢献に対する認識を高めていきます。日系人とは特に昨年8月に立ち上げた日系4世イニシアティブを通じ、4世と日本との交流強化に努めていきます。これらのコミュニティとの連携・連帯を通して日本コミュニティの存在感が高まり、ひいては日本コミュニティの生活環境が高まることに繋がると信じます。

当館といたしましても、ここ南カリフォルニアにおける日系企業のプレゼンスの向上に努めるとともに、ビジネス展開へのご支援に、本年も全力を挙げて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、会員企業各位の一層のご発展と、この新しい年が皆様にとりまして、実り多い素晴らしい年となることを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
#31

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活に迫るコーナー。



お話をうかがったのは
石崎宏幸さん

慶應義塾大学を卒業後、キャン株式会社に入社し、NYに赴任する。その後、New York UniversityでMBAを取得し、米国のPwC、Deloitte、KPMGにて経営コンサルタントとして欧米企業を中心に北米、欧州、大洋州を股にかけた経営戦略を支援。4年前にNRIA（野村総合研究所アメリカ）に入社し、北米在住日系企業を中心に経営戦略の支援を行う。在米25年以上。

Web: <http://www.nria.com/en>

貴社の事業について教えてください。

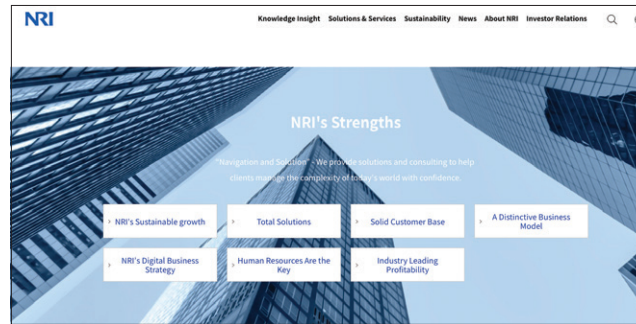
弊社は野村総合研究所のアメリカ拠点として、日系企業の成長戦略、M&A支援、ITシステムを活用した事業改革支援、また海外投資に必要なさまざまな最新情報のご提供などを通じて、海外で活躍する日系企業の経営のお手伝いをさせていただいております。NRIAアメリカの設立は1967年、ホールディングスを含めて本部はニューヨークですが、私自身はカリフォルニアを拠点にしており、パンデミックまでは全米各地のクライアント先に出張で出かけていました。

コロナ禍が貴社の事業に与えた影響と今後のビジョンをお聞かせください。

我々の経営コンサルティングという業界は、2020年3月に始まったパンデミック以降、大きな影響を受けました。私自身、20年の3月後半はまさに出張の最中で、フライトの最後の2人の乗客という状況でした。4月以降は弊社の従業員も全員リモートワークに切り替えまして、現在までその

Nomura Research Institute America, Inc.

野村総合研究所のアメリカ現地法人として50年の歴史を持ち、日系企業の海外での活躍を支援する経営コンサルティングに携わるNRIAアメリカの石崎さんに、パンデミックで変化した働き方、経営コンサルティングの基本にある精神、南カリフォルニアの楽しみなどを伺った。



NRIAアメリカのウェブサイトより。

体制は続いています。そして、必要に応じて出社するという働き方です。

ビジネスへの影響としては、以前のようにお客様の会社へ行ってコンサルティングを行うということは減りましたが、リモートでのコンサルティングを続けた結果、21年に入るとお問い合わせの件数が増えまして、非常に忙しい状況が続いております。

さらに1カ月ほど前には、出張にも出かけて来ました。1年半ぶりでした。お客様の現場で、それまでオンラインで会っていた同僚とも1年半ぶりに対面式で再会しました。今後はお客様とも実際に会う機会が増えていくことになるかと予想されますが、地域によってもリモート対面式には大きな差が出ています。カリフォルニア州ではまだまだオフィスに出ることに慎重な傾向が見られる一方で、テキサス州は22年から企業は全面的にオフィスに戻る方向ですし、民主党が強いニューヨークでも、市長が企業にオフィスに戻るよう積極的に働きかけています。これは地域の小売ビジネスが厳しい状況に置かれているという状況があることに加え、オフィスの空室率を下げないようにするためです。

仕事の上で大切にされている考え方はありますか？

私のポリシーは、コンサルティングというビジネスにおいては従業員が重要なアセットであるという考えを踏まえて、従業員に対

して敬意を持って接するという事です。また、逆に従業員からも敬意を抱いてもらえるように、常に自身を磨くように心がけています。また、経験とスキルを武器に海外投資を積極的に行っている日本企業のお客様には、心からのリスペクトを

抱いております。

南カリフォルニアの印象や余暇の過ごし方をお聞かせください。

カリフォルニアに来て10年になります。21年の春まではラグナビーチに住んでいましたが、子どもの高校がオンライン授業から対面式になったのを契機に、通学の安全面を考えて（学校に近い）アーバインに引っ越して来ました。子どもは年子の男の子が2人いるのですが、この恵まれた環境の中、彼らが楽しむサーフィンやスキューバダイビング、テニス、また冬にはスキーといったスポーツに私も一緒に興じることで、有意義で健康的な生活を送ることができていると思います。これからは、そろそろ子どもたちの手が離れてきたこともあり、本格的にゴルフを再開しようと思っています。

最後にJBAに期待することをお聞かせください。

我々の仕事にとってネットワークは非常に大切です。JBAにはその出会いの場を提供いただくことを期待しています。先日もゴルフ大会に参加させていただいたのですが、（パンデミックから）徐々に良い方向に移行しつつあるので、今後ますますこのようなイベントに参加させていただきたいと希望しております。また、参加するだけでなく、私自身ももっとボランティアとしてJBAの活動に携わっていきたくと考えています。

あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表

去る11月、あさひ学園高等部がオレンジ校とトランス校、サンタモニカ校にて弁論大会を開催。2年ぶりの対面での実施となった同大会には、3校合わせて56名の高校生が参加し、それぞれが個性豊かな弁論を披露した。オレンジ校では最優秀賞が同点で2名受賞となるなど、白熱した今大会。ここでは最優秀賞を受賞した生徒らの弁論を紹介する。

●オレンジ校最優秀賞 「ねずみへの花束とダイナマイト -科学と人間性について考える-」

オレンジ校高等部2年・壺内咲里さん

私の弁論ではダニエル・キイス著の『アルジャーノンに花束を』を通して、科学は人間性を奪ってしまう危険性があることを伝えました。そして、私の考えも踏まえて、実際に科学によって人間性が失われた例を紹介させていただきました。

『アルジャーノンに花束を』の主人公、チャーリー・ゴードンは知的障害者でした。ある日、彼はネズミのアルジャーノンと同じ脳の手術を受け、賢くなります。チャーリーは賢さ故に他人を見下すようになります。しかし、急にアルジャーノンは知能が下がり、亡くなってしまいます。チャーリーはアルジャーノンを庭に埋めてあげ、花を供えました。そんな彼も脳が衰えていき、結局、元の知能に戻ってしまいます。しかし、彼は最後に心の込もったメッセージを届けます。小尾美佐さんが翻訳したものからです。「ついしん。どーかついでがあつたらうらにわのアルジャーノンのおはかに花束をそなえてやってください。」

物語の最後に、チャーリーは科学によって得た賢さを失ってしまいました。しかし、亡くなったアルジャーノンに花束を供えるという人間性だけは失いませんでした。物語の中盤で彼は賢さ故に思いやりの心を失ってしまいます。科学の力で知能だけ手に入れて、その代償として人間らしさを失うのは、あまりにも悲しいことです。この小説は、

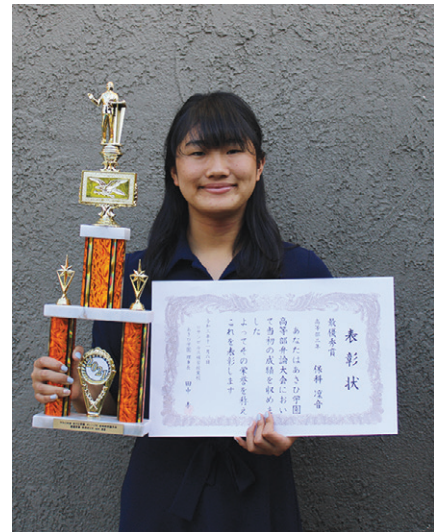
科学の使い方を間違えると人間性を失ってしまうことを危惧したのだと思います。実際に過去に使い方を間違い、人類を脅かしたのがあります。それが、ノーベルが発明したダイナマイトです。それはトンネルの穴を楽に掘るためなどの目的で作られたのです。しかし、人間はそれを戦争で人を殺すために使いました。科学は便利さを与えることはできますが、優しさを与えることはできません。科学は私たちに幸せしてくれるかどうか、それは私たちにかかっていません。

私は、食事中にスマホを見ないというルールを決めました。スマホを横に置いていると家族と食事中でも頻繁に通知を確認してしまい、ひどいときには友達とテキストをします。科学によって私は「目の前にいる人とコミュニケーションを取る」という人間として基本的なことができなくなっていました。大切な人と楽しい食事をしたいです。食事中にケータイを見てしまうという方は、ぜひ私と一緒にスマホを食卓に置かない努力をしてみませんか。

話は変わりますが、『鉄腕アトム』の歌の中ではアトムのことを「心優しい ラララ 科学の子」と呼んでいます。ロボットのアトムはもちろん「科学の子」です。しかし、人を助けるといった人間らしい心も備えています。テクノロジーを頻繁に使う私たちも「科学の子」なのかもしれません。私たちもネズミに花束を供えられる、ダイナマイトを正しく使える、「心優しい科学の子」になれるといいですね。ご清聴ありがとうございます。



オレンジ校の最優秀賞受賞者、壺内咲里さん。



同じくオレンジ校の最優秀賞を受賞した、高等部2年の保科凜音さん。

●トランス校最優秀賞 「聞こえますか?地球の叫び!」

トランス校高等部1年・森 袖桜さん

私たち人間は、着る・食べる・住むことを生活の基礎として生きています。「世界人口白書2021」の発表によると、なんと、世界の人口は78億7500万人とのことです。この多くの人たちの毎日の生活が、地球に大きな影響を及ぼしているのです。私は、皆さんに、「ファストファッション」を通して、今、地球が叫んでることをぜひ知っていただきたいと思っています。

「ファストフード」という言葉があるように、「ファストファッション」とは、ZARAやH&Mなど、最新デザインで洋服を大量生産して、安く売り、短いサイクルで商品を入れ替えていくという、ファッション業界で大成功しているビジネスです。安いので、数回着て、また新しい洋服を購入できるので、買い手には魅力的ですが、私はファストファッションは良くないと考えています。なぜなら、価格が安い裏に、環境問題、労働問題という、見えない犠牲があるからなのです。

まず、環境問題については、ボストン大学の調査で分かっていることがあります。その一つとして、製造過程で、生地の約60%が、石炭やガスなどの化石熱量を利用しているため、二酸化炭素の排出量が多いことが挙げられています。

二つ目として、ナイロンやポリエステルなどの、土に還らない布を利用しているので、6割の布は堆肥化しないということです。埋められても、何百年も土の底、地球に残

ることになるのです。

まだあります。三つ目として、フロリダ大学の2020年の報告によると、布の生産には信じられない量の水を利用しているということです。Tシャツ1枚に必要なコットンを育てるためには、約3万リットルの水が必要とのことで、人間は、1日3リットルの飲水が必要ですから、とするとTシャツ1枚作るには、約900日分の飲水が必要となるのです。つまり、ファストファッション業界は、1年にオリンピックプールの約3000万倍もの大量の水を利用するという産業なのです。

次に、見えない犠牲として、工場で働く人たちの労働問題があります。最低賃金でさえ払われていない現実。全世界にある工場は、安全でない地域に建てられていたり屋根がなかったり、バングラデシュでは2013年に老朽化した8階建ての衣服工場が崩落し、1129人の命が奪われたりしました。アフリカでは学校に通えない貧しい子どもたちが、農業の綿畑でコットンを摘む仕事をしています。このような過酷な労働や、有毒な染料や殺虫剤からの健康被害などが報告されています。労働者は涙ながらに、こんな言葉を発していました。「洋服を作るのが、どれだけ大変か？ 人は、ただ買って着るだけ。でも、その洋服は私たちの汗と血でできているのです」。

さあ、私たちの未来の地球をどう思い浮かべますか？ 枯れて深く傷つき、まだ叫んでいる地球ですか？ それとも、青々と豊かで健康な地球ですか？ これから私たち一人一人がスマートな洋服選びを意識して



トランス校の最優秀賞受賞者、森 紬桜さん。

いくことが、美しい地球を未来へ残す、大きな力になると私は信じています。今、地球は叫んでいます。だから…。ご清聴、有難うございました。

◎サンタモニカ校最優秀賞 「その恋、応援するよ!」

サンタモニカ校高等部2年・熊谷 宙さん

みなさん、恋、してますかー!？ もししているとしたら、それは一体どんな気持ちなのでしょう。きっと楽しい、うれしい、幸せという気持ちだけではないんでしょうね。嫉妬や苦しみ、相手の何気ない一言に傷ついたりすることもあると思います。そんなにたくさんの感情を抱くのは、ものすごいエネルギーが必要なはず。一人の人にそんなエネルギーを使えるなんて、本当にすごいことだと思います。その相手が誰であろうとも、です。

今、この世の中でLGBTQという言葉を知らない人はいないでしょう。多様性が受け入れられるための運動もたくさん起きています。現在、同性婚や同性カップルの権利を保障している国は、世界中の20%程です。残念なことに、まだ100%ではありません。他人の目のせいで自分の気持ちを殺して生きるなんて、苦しすぎて息が詰まってしまうのではないですか？ そんなの、嫌ですよね。

このテーマを選んでおいて何を言うんだと思うかもしれませんが、私は今まで恋をしたことがありません。ですので、なおさら一人の人を大切に思える人が素敵だと思います。でも、LGBTQを受け入れていない人たちからしたらどうなのでしょう。古くからあった固定概念を取り払うのはとても難しいことです。小さい頃からLGBTQに否定的な意見に触れて育っていた人は、きっと受け入れないのではなく受け入れられないのでしょう。その場合、その人が差別的な心を持っている悪だ!と決めつけるべきではないと思います。問題は、意見が対立した時にどういう態度を取るかです。

残念なことに、世の中には自分の意見を人に押し付けようとする人たちがいます。その意見の押し付け合いが時に戦争になったりするので。たとえ似た考えの人がいても100%一緒ということはありません。全人類78億人が一人一人異なる考えを持っています。それらを全て受け入れるなんて、無理があると思いませんか？ そんなことしなくていいんです。大切なのは、受け入れられずとも押し付けないということです。もし



サンタモニカ校の最優秀賞受賞者、熊谷 宙さん。

自分と誰かの意見が相違しても、そういう意見もあるのだと受け流しておけばいいのです。

それを踏まえた上でもう一度、私の意見を聞いてください。私は、この世が差別や偏見のない、みんなが自分を殺さずに生きられる世界になるべきだと思います。それを受け入れられない人たちが「悪」だとは思いません。いつか、本当の平等が訪れるために少しずつでも歩いていきたいです。私からしてみれば、恋というのはどれもが尊くて、私はその気持ちを大切にしたいです。片思いでも両思いでも、実っても散っても、最後には幸せだと笑える結末が待っていますように。たくさんの思いや考えが飛び交うこの世界で、あなたの想いが届きますように。その恋、応援するよ!



弁論大会の様子。生徒たちは多くの聴衆の前で、レベルの高い弁論を繰り広げました。

各部会からのお知らせ

企画マーケティング部会

「第3回異業種交流会」をオンラインで開催しました

文：企画マーケティング部会・会員交流創出班

去る2021年の11月17日、「第3回異業種交流会」を、「Zoom」を使ったオンラインの形で開催しました。今期はこれまで、国立公園やディズニーランドに詳しい方々を招いてのプチセミナー付きで開催してきたミキサーですが、今回はシンプルに会員の皆さん同士の交流にたっぷり時間を割く形に戻しての開催。当日は40名弱の方々が参加くださり、滞在歴ごとに分けたグループ内で、思い思いに交流を楽しんでおられました。次回以降はそろそろ対面での開催も視野に入れながら、引き続き会員の皆さんの交流を促進できるようなイベントを企画してまいりますので、楽しみにしてください。



参加者全員で乾杯した後、グループに分かれて懇親。

教育文化部会

JEG 授与式をオンラインで開催しました

文：KPMG LLP・細野卓志さん

教育文化部会の活動の一つであるJEG (Japan Enrichment Grant:日本の文化、伝統、言語を取り入れた授業および活動を行う学校を対象とした支援事業)の申し込みが2021年9月末に締め切れ、その後、約2カ月の選考を経て11校の教育プログラムに絞り込み、12月8日(水)午後5時より授与式を行いました。

新型コロナウイルスの影響から、20年と同様「Zoom」を用いたオンラインでの開催となりましたが、各学校の先生方とお互

いに顔を見ながら直接お話しする貴重な機会となりました。

本年度においては、11校、約2万3000ドルの申請がありました。それに対して、11月に約2年4カ月ぶりに再開された長い歴史を誇るチャリティーゴルフにおいて、これまで各企業および個人の皆様より寄せられた寄付から予算を捻出し、授与校を絞り込んでいくという作業を行いました。

申請内容は20年に比べ対面・実地での活動が増えており、選考に当たっては、日本の文化や歴史、伝統、言語をどのような形で教育に取り込めるか、あるいはそれらを教育を窓口にして広められるか、さらには子どもたちを通じてその家庭、コミュニティにまで影響をもたらすことができるのかといった見地から検討致しました。選ばれた11校のプログラムは、過年度において既にJEGを授与されたことがある活動から、初めてのものまでさまざまであり、本プログラムの歴史とさらなる広がりを強く感じることができました。

授与式は、JEG担当の堀田さん司会進行の下、林部長より受与者への祝辞に続いて、教育文化部会の活動とJEGの説明が行われました。続いて、各受与者より各教育現場における活動の概要、課題、日本文化、日本語教育が置かれる現状等の紹介、情報共有が行われました。

20年より、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業の開始、また対面授業の再開と、教育に携わる皆様は通常の教育活動においても苦心されている状況ですが、そのような中でも、先生方からは活動内容をより魅力的なものとするための工夫や情熱などをお伺いすることができました。日々活動されている教育者の皆様のお話を直接伺うことで、先生方の大変さや努力をあらためて知るとともに、先生方がJBA、JEGへの感謝の意を伝えてくださるのを聞きながら、JEGの活動ならびにJBAの存在意



受与者とJEGチームがオンラインで集った授与式。

義を強く感じました。

JEG活動をよりよくご理解いただけるように、20年度の活動をまとめた紹介ビデオを作成致しましたので、こちら (https://www.youtube.com/watch?v=s_yVMUyU25E) をご覧ください。

最後に、米国で働いている日本人として、日本語・日本文化教育を行っている教育者の方々の活動に心より感謝を申し上げます。また、本取り組みをご支援いただきました各企業様および皆様にも、この場をお借りして御礼を申し上げます。

ダウンタウン地域部会

「フットボール観戦」に参加しての感想文

文：鈴木翔太さん (Diamond Generating Corporation・鈴木元三郎さんのご子息)

僕は先日JBAのおかげで人生初めてのフットボール観戦をすることができました。今回は有名大学であるUCLAとUSCの試合ということで、メジャーの野球にたとえるとDodgersとGiantsのようなライバル戦みたいだなと思いました。行く前から絶対に面白い試合になると感じ、とてもワクワクしました。

フットボールのルールはあまりよく知らなかったのですが、事前にJBAが用意してくれたルールブックをしっかりと読んでいったことで、試合をとっても楽しく観戦することができました。僕はUCLAを応援することにしました。理由は二つあり、一つ目はUCLAの方が強いと思ったからです。この



眼前で繰り広げられたUCLA対USCの試合。



スタジアムでの観戦の様様。

試合前までの成績を調べてみると、UCLAが6勝4敗、USCが4勝6敗だったのです。

二つ目は、チームカラーである青は僕の好きな色で、UCLAのデザインもカッコよく、ファンになりました。

試合は大きな人たちがぶつかり合う形で始まりました。1st Quarterは両チーム共にポイントがあまり取れず、少し退屈でしたが、2nd Quarterに入るとUCLAが一気に得点を取りました。見るほどに試合が面白くなり、ハーフタイムショーの合間に、スタジアムで食べたご飯はとってもおいしかったです。

後半に入ると両チーム共に、どんどん得点を取り、次から次へと簡単そうにタッチダウンを決めるのを見るのも、とても面白かったです。ボールを投げる人、受け取る人、タックルする人、それぞれ役割が違うけど、最後はチーム全体の力の強さで決まるのです。頑張っている姿がとってもカッコよく思いました。これは僕がやっている野球と何か共通するものがあるなど感動しました。

僕たちは4th Quarterの途中で帰ることにしましたが、最終のスコアが気になり、帰って家族みんなでニュースを見ました。「62-33」でUCLAが勝っていて、やはりUCLAは強く、ファンである僕もうれしくなりました。アメリカならではの迫力あるプレーとスタジアムでの盛り上がり、この楽しい時間を体験することができて本当に良かったです。いつか大きくなってまたUCLAを応援しにあの場所に戻ってきたいです。

「海野雅威コンサート」に参加しての感想文

文：JCB International Credit Card Co., Ltd.・稲川正和さん

毎年大御所アーティストを迎えて開催される「オーロラ基金ベネフィット・コンサート」ですが、今年(2021年)もダウンタウン地域部会でJBA専用席を設けました。



会場は外ルネキョーのAratani Theatre。



勇気や希望が伝わるコンサートとなった。

今回は、ニューヨークを主な活動拠点とする、ジャズピアニストの海野雅威氏が登場。2020年9月に遭った暴行事件から1年強経ちますが、海野氏はニューヨークや日本での活動を再スタートさせており、今回のコンサートは、復帰後初のロサンゼルス公演となりました。

コンサートでは、ピアニスト生命が危ぶまれた事件についても時折ユーモアを交えながら話すなど場を盛り上げられており、見事な演奏はもちろんのこと、勇気や希望といったメッセージが力強く来場者に伝わる、素晴らしい内容でした。また、トリオを組んだベーシスト、ドラマーは、ともに海野氏が先輩と仰ぐジャズ界の大御所でもあり、ジャズファンのJBA会員の方々にとっては、特別価格で素晴らしい演奏を堪能できる貴重な機会となったのではないのでしょうか。

あさひ学園だより

年末のお楽しみ会を2年ぶりに開催!

文：あさひ学園事務局

例年12月、あさひ学園の幼稚部では、お餅つき大会や年末のお楽しみ会でサンタさんからプレゼントをもらうという行事があります。昨年(2020年)はオンライン保

育のため、これらの行事は全く実施できませんでしたが、今年(2021年)は12月11日に開校したサンゲブル校にて、ようやく2年ぶりにお楽しみ会を行うことができました。

校長先生扮するサンタさんがサプライズで登場すると、園児たちは「本当にサンタさんがいた!」「プレゼント持ってきてくれた!」と大喜びです。サンタさんから一人一人にプレゼントが渡された後は、園児からサンタさんへの質問タイムになりました。「サンタさんのおうちはどこ?」「何を食べているの?」など次から次へと好奇心旺盛な園児たち。サンタさんもタジタジでしたが、「みんなが仲良くニコニコしてくれることが一番大切だよ。そうすれば、みんなもサンタさんになれるよ」とのサンタさん(校長先生)からのアドバイスをしっかりと聞きました。最後には全員笑顔で記念撮影。園児たちの楽しそうな声や表情がとても印象的な1日となりました。

また、この時期から幼稚部では、卒園に向け、絵皿作成の準備もしています。お皿は、自分でデザインした絵の中に幼稚部で覚えたひらがなで名前を書きます。デザインは、日本の季節の行事を楽しみながら培った情緒豊かな絵となりました。オンライン保育という特殊な状況でも子どもたちは、この1年で大きく成長しました。ニューノーマルの世の中で、明るい未来を見つめる園児たち。卒園の3月には、卒園制作が完了し、世界に一つだけの絵皿をもらって小学部へと羽ばたきます。



お楽しみ会にて、サンタさんと記念写真。

新入会企業紹介

南カリフォルニアに事務所がない弊社でも、南カリフォルニアの日本企業との交流を深められることからJBAへの入会を決めました。



カルメン・チャンさん

既に本年度JBAの役員を務めさせていただいておりますが、引き続き弊事務所においても南カリフォルニアの日系企業の皆様との交流や情報交換の機会を持つことができれば幸いです。



木本泰介さん

南カリフォルニアの日系コミュニティで重要な役割を果たされているJBAで、部会等の活動への参加を通じてお役に立ちたい、多くの方と交流させていただきたいと思い、入会致しました。



笠井大樹さん

Brunswick Group

DATA

住 所：One Bush St., Suite 1400, San Francisco, CA 94104
☎ 628-777-8061

Web: <https://www.brunswickgroup.com>

責任者：カルメン・チャン (Associate)

従業員数：世界で約1200名、サンフランシスコは約40名。

他の営業拠点：東京、米国で5拠点（ニューヨーク、ワシントンD.C.、サンフランシスコ、シカゴ、ダラス）

世界の27都市に1200名のコンサルティングを有する、世界大手の戦略アドバイザー会社。特に、烈度の高いクロスボーダー事案を得意としており、M&A、アクティビスト防衛、IPO、危機対応、訴訟、サイバー・データ漏洩、不正・汚職、パブリックアフェアーズなどの重要局面において、重要なステークホルダーとの関わり方や戦略情報発信をアドバイスする。主要顧客は、米国を代表する企業のみならず、世界のグローバル企業の経営層が多数。2020年に東京事務所を開設した。

Covington & Burling LLP

DATA

住 所：1999 Avenue of the Stars, Los Angeles, CA 90067

☎ 424-332-4800 / FAX: 424-332-4749

Web: <https://www.cov.com>

責任者：木本泰介 (Partner, Co-Head of Japan Practice)

従業員数：約2200名 他の営業拠点：ワシントンD.C.、ニューヨーク、サンフランシスコ、パロアルト、ロンドン、ブリュッセル、フランクフルト、ドバイ、ヨハネスブルグ、北京、上海、ソウル

Covington & Burling LLPはワシントンDCを本拠として世界に13のオフィスを構え、弁護士約1300人を擁する国際総合法律事務所である。訴訟、コーポレート、危機管理、規制関係、知財などの分野において強みを有しており、テクノロジーやライフサイエンス産業にも深い造詣がある。現在は南カリフォルニアに拠点を持つ日系企業への支援を拡大しており、全世界のオフィスと緊密に連携して非常に複雑かつセンシティブな案件にも対応できる体制を整えている。

Premier Kaikei LLP

DATA

住 所：3625 Del Amo Blvd., Suite 345, Torrance, CA 90503

☎ 310-776-3563

Web: <https://premierkaikei.com>

責任者：笠井大樹 (Managing Partner)

従業員数：10名

他の営業拠点：ニューヨーク、アトランタなどに提携事務所

Premier Kaikei LLPは、2020年6月に設立された日系会計事務所であり、BIG4の元パートナーや日米の公認会計士資格保持者などによって構成されている。同事務所は監査、レビューなどのアシュアランス業務、税務申告、会計税務や内部統制に関わるコンサルティング業務などを行っている。日米両国における会計税務実務への深い知識と経験をベースに、クライアントのビジネスをよりよく理解しながらソリューションを提供できる、一味違った会計事務所を目指している。

Union Bank売却契約の締結後も、日系のお客さまやコミュニティとの強い繋がりは一切変わりません

- U.S. Bankとの統合により、ご提供する商品、サービス、およびデジタル機能が強化されます
- 支店チームおよび日本語コールセンターは、U.S. Bankへ移管しサービスを継続します
- MUFGは、米国市場から撤退せずに引き続き法人顧客へのサービスを提供します
- MUFGは、売却契約締結後U.S. Bankの重要な少数株主としての地位を保持します



©2021 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Equal Housing Lender.
Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. unionbank.com/prcb

1/2月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

1/14 (金)

第239回 ビジネスセミナー

企画マーケティング部会

1/21 (金)

賀詞交歓会

企画マーケティング部会

1/30 (日)

目指せ100切り! エンジョイ懇親ゴルフ!

オレンジカウンティ地域部会

2/1 (火)

特別経済セミナー

企画マーケティング部会

2/6 (日)

OC Online料理教室

オレンジカウンティ地域部会

2/12 (土)

Happy Valentine's Day with Wine!

ダウンタウン地域部会

2/20 (日)

「ジェネシスインビテー ショナル」観戦

ダウンタウン地域部会

2/23 (水)

第240回 ビジネスセミナー

企画マーケティング部会

2/26 (土)

マジックキャッスル訪問

ダウンタウン地域部会

2/27 (日)

バイリンガルセミナー

教育文化部会

新入会員

DENTSU ENTERTAINMENT USA

Yazaki North America, Inc.

Reliance Standard Life Insurance Company

ROKI S&S Americas, Inc.

Business Engineering America, Inc.

5800 Bristol Pkwy., 5th Fl., Culver City, CA 90230

2622 Ohlone Dr., San Jose, CA 95132

25909 Pala Place, Suite 250, Mission Viejo, CA 92691

21081 S. Western Ave., Suite 290-B, Torrance, CA 90501

1827 Walden Office Square, Suite 545, Schaumburg, IL 60173

☎ 310-993-1645

☎ 734-968-3432

☎ 949-309-5973

☎ 424-350-9471

☎ 847-386-8855



さあ、次の目的地へ。

Hitachi Solutionsはソリューションポートフォリオを、Digital Compass™として体系化しています。

業務システムの改善から、データ分析・AI技術の適用、Office環境の構築・移行から、システムの運用管理・ユーザートレーニングまで、課題や状況に合わせ、最適なソリューションを提案。

貴社を次の目的地までナビゲートします。

Hitachi Solutions

お問合せ

+1-650-615-7621

info-jp@hitachisolutions.com

担当: 高木・黒田まで

Webをチェック

<https://global.hitachi-solutions.com/>

Microsoft
Partner



2021 Partner of the Year Winner
Dynamics 365 Field Service Award
2021 Partner of the Year Finalist
Dynamics 365 Customer Service Award
Dynamics 365 Marketing Award
Dynamics 365 Sales Award
Government Award

